

し つ も ん	1 ～ 5 の中で、自分の思うところに○印をつけてください。				
1 あなたはわからないことがあったとき、どんなものを調べたらよいか考え、自分で調べていますか。	1 まったくない	2 ほとんどしない	3 ときどきしている	4 だいたいしている	5 いつもしている
2 あなたは調べたものの中から必要なものを自分で選び分けていますか。	1 まったくない	2 ほとんどしない	3 ときどきしている	4 だいたいしている	5 いつもしている
3 あなたは調べたことをわかりやすく図や表などにあらわしていますか。	1 まったくない	2 ほとんどしない	3 ときどきしている	4 だいたいしている	5 いつもしている
4 あなたは、調べたことからわかったことをまとめていますか。	1 まったくない	2 ほとんどしない	3 ときどきしている	4 だいたいしている	5 いつもしている
5 あなたは、まとめたことを相手に正確に伝えていますか。	1 まったくない	2 ほとんどしない	3 ときどきしている	4 だいたいしている	5 いつもしている
6 あなたは会社の仕事や天気予報を決めるときなどでコンピュータが多く使われていることを知っていますか。	1 まったく知らない	2 ほとんど知らない	3 少し知っている	4 だいたい知っている	5 知っている
7 あなたは会社や銀行の仕事に多くのコンピュータが使われるようになると、いろいろな問題がでてくるとお思いますか。	1 まったく思わない	2 ほとんど思わない	3 少しは思う	4 ときどき思う	5 いつも思う
8 あなたは会社の仕事や天気予報を決めるときなどに使われているコンピュータは大切な役割をはたしていることを知っていますか。	1 まったく知らない	2 ほとんど知らない	3 少しは知っている	4 だいたい知っている	5 知っている
9 あなたは自分の発言（情報）が他の人に迷惑をかけるかも知れないと考えることがありますか。	1 まったく思わない	2 ほとんど思わない	3 少しは思う	4 ときどき思う	5 いつも思う
10 あなたはコンピュータがどんな装置からなりたっているかわかりますか。	1 まったくわからない	2 ほとんどわからない	3 少しわかる	4 だいたいわかる	5 わかる
11 あなたはコンピュータを使うとどんな便利ことがあるかわかりますか。	1 まったくわからない	2 ほとんどわからない	3 少しわかる	4 だいたいわかる	5 わかる
12 あなたはコンピュータを使うことができますか。	1 まったくできない	2 ほとんどできない	3 少しはできる	4 だいたいできる	5 いつもできる

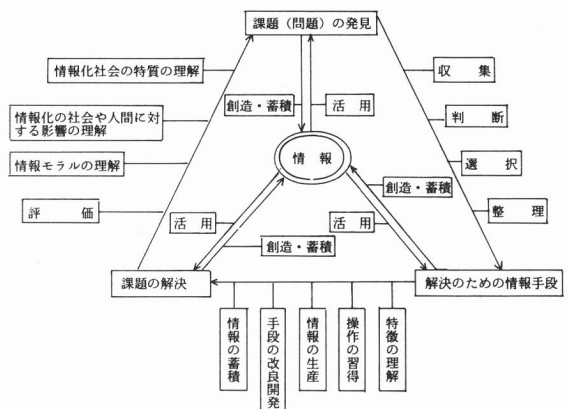
児童生徒の自己評価の例（評定尺度 I ……小学校用）

### 5. 情報活用能力育成プロセス（モデル図）の作成

情報活用能力の育成をより効果的なものとするためには、育成すべき要素の育成過程を明確にしておく必要がある。本研究では、問題（課題）の発見から解決・評価までの学習過程を情報活用という観点から構造化し、教科・科目内容の特質・児童生徒の発達段階や実態、情報や情報手段の特質と特性等を踏まえて実践可能を予想できる「情報活用能力育成プロセス」（モデル図）を作成した。

特に、児童生徒の学習過程においてはたえず情報手段と密接に関連しながら学習を進めることになるため、プロセス図を右図のように三角形にし、その一角に「解決のための情報手段」をすえた。また、情報の創造・蓄積・活用は、どの学習段階でも行われるため、これらを図の中央に位置

づけた。実践に当っては、このモデル図を図-8の育成プロセスのように具体化することにした。



情報活用能力育成プロセス（モデル）